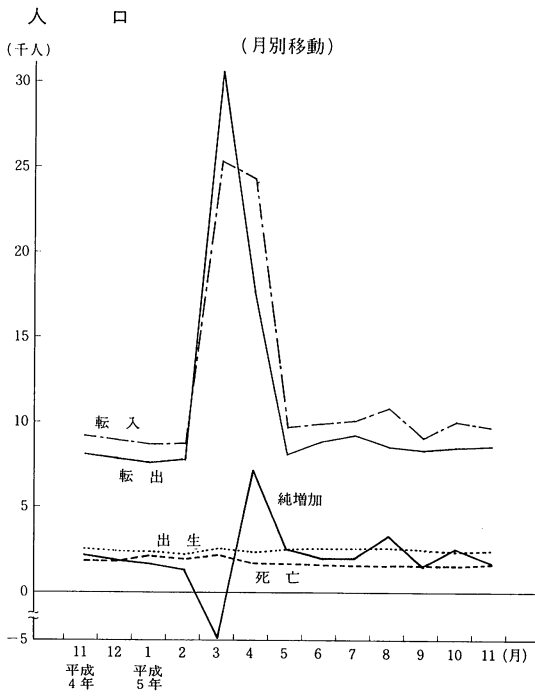
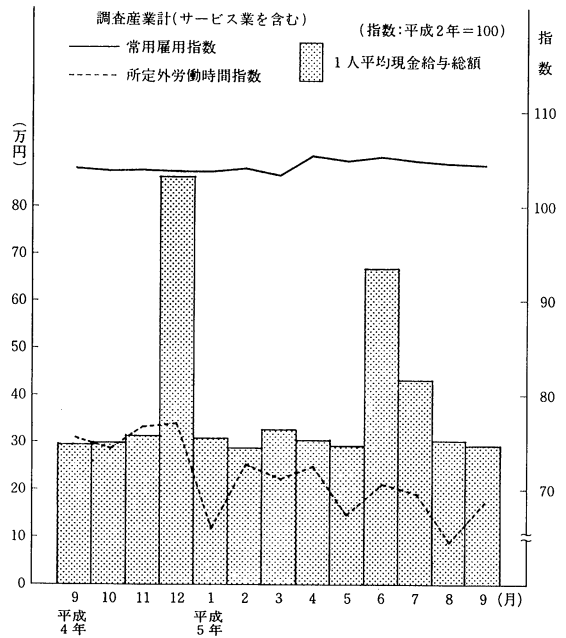


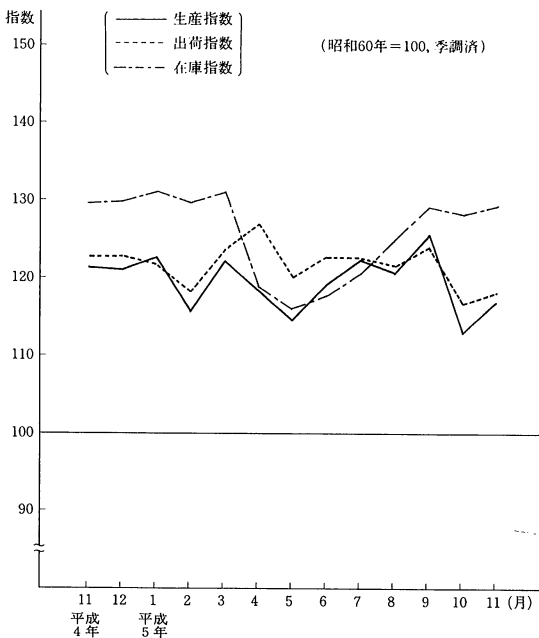
今月の主な動き



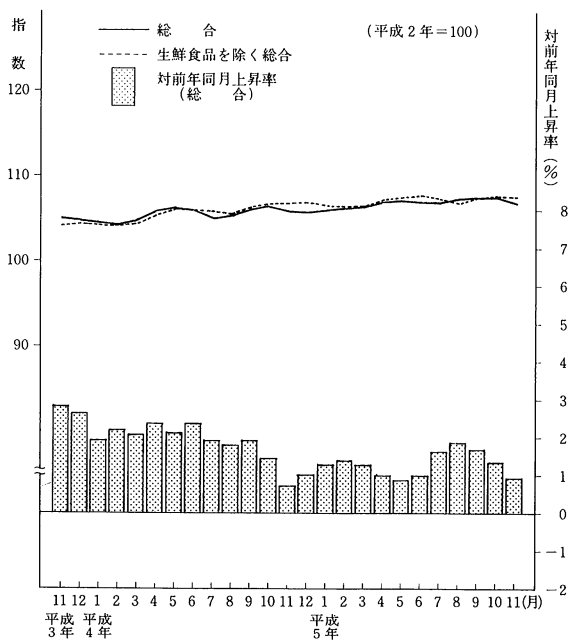
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし……………企画部統計課

■人口(12月1日)

本県の人口は、11月中に1,792人増加し、12月1日現在で2,930,980人(男1,465,225人、女1,465,755人)となった。

内訳は、自然動態で684人(出生2,390人、死亡1,706人)増加し、社会動態で1,108人(転入9,741人、転出8,633人)増加した。前年同月と比べると22,273人(0.77%)の増加で

ある。

市町村別では、増加が14市42町村、減少が6市22町村、増減なしが3町村である。

世帯数についても11月中に1,253世帯増加し897,374世帯となった。

■賃金・労働時間・雇用(9月)

1. 平均賃金の推移

9月の現金給与総額は、調査産業計で291,488円、対前年同月比0.9%増、このうち、きまって支給する給与は290,943円、対前年同月比1.2%増であった。また、このうち、所定内給与は265,950円、対前年同月比1.3%増であり、超過労働給与は24,993円、対前年同月比3.9%減であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は、対前年同月比0.4%減であった。

※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。なお、事業所規模5人以上の結果についての問合せにも応じます。

2. 労働時間

9月の総実労働時間は、調査産業計で162.0時間、対前年同月比1.5%減であった。このうち、所定内労働時間は148.7時間、対前年同月比0.8%減、所定外労働時間は、13.3時間、対前年同月比8.9%減であった。

3. 雇用の動き

9月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比0.6%増であった。

■鉱工業指数<生産・出荷・在庫>(11月分)

本県における平成5年11月の“鉱工業指数”(昭和60年=100)は、季節調整済指数で、生産が117.4、出荷が118.7、在庫が129.4で、前月比は、生産が3.6%の上昇、出荷が1.2%の上昇、在庫が0.8%の上昇であった。

前年同月比(原指数)は、生産が3.3%の低下、出荷が3.4%の低下、在庫が0.3%の上昇であった。

業種別に前月比をみると生産では、金属製品工業、化学工業、一般機械工業等が上昇し、輸送機械工業、鉱業、プラスチック製品工業等が低下した。出荷では、金属製品工

業、化学工業、電気機械工業等が上昇し、鉱業、輸送機械工業、プラスチック製品工業等が低下した。在庫では、繊維工業、食料品・たばこ工業、鉄鋼業等が上昇し、石油・石炭製品工業、輸送機械工業、電気機械工業等が低下した。

特殊分類別にみると生産では、非耐久消費財、資本財等が上昇し、その他用生産財、耐久消費財が低下した。出荷では、非耐久消費財、資本財等が上昇し、耐久消費財、建設財等が低下した。在庫では、非耐久消費財、鉱工業用生産財等が上昇し、その他用生産財、資本財等が低下した。

■消費者物価指数(11月)

平成5年11月の茨城県消費者物価指数(県平均)は、総合で106.5(平成2年=100)となり、前月比0.7%の下落、前年同月比0.9%の上昇となった。

今月の上がった主な項目……穀類2.9%

今月の下がった主な項目……野菜・海藻15.2%、果物9.3%、通信6.4%、油脂・調味料、飲料1.9%、魚介類、肉類1.1%、電気・ガス代1.0%

生鮮食品を除く総合は107.4となり、前月比は0.1%の下落、前年同月比は0.9%の上昇となった。

費目別指数

(平成2年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同			対前月	対前年同
総 合	106.5	△0.7	0.9	保健医療	102.6	0.0	0.1
食 料	104.4	△2.2	0.5	交通通信	99.5	△1.0	△0.8
住 居	113.5	0.2	2.4	教 育	110.1	0.0	3.8
光熱・水道	102.3	△0.8	△0.6	教養娯楽	108.8	0.0	0.9
家具・家事用品	101.8	0.0	0.6	諸 雑 費	103.2	0.0	△0.3
被服及び履物	115.0	0.3	2.2	生鮮食品を除く総合	107.4	△0.1	0.9